経営比較分析表（令和4年度決算）

富山県　中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	34	対象	透 Ｉ 未 訓 ガ	救 臨 が 感 災 地 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
1,028,440	66,220	非該当	非該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
665	－	16
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
50	2	733
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
568	－	568

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例

■　当該病院値（当該値）

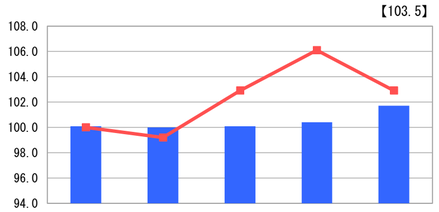
ー　類似病院平均値（平均値）

【】　令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

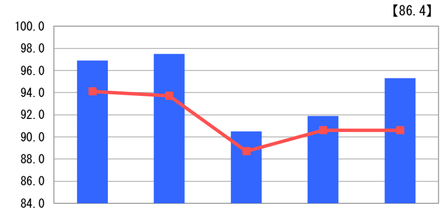
【103.5】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	100.1	100.0	100.1	100.4	101.7
平均値	100.0	99.2	102.9	106.1	102.9

②医業収支比率(%)

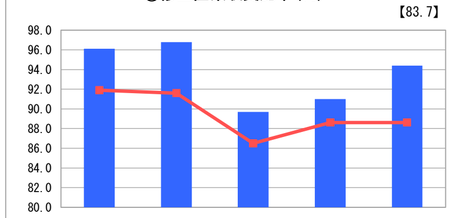
【86.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	96.9	97.5	90.5	91.9	95.3
平均値	94.1	93.7	88.7	90.6	90.6

③修正医業収支比率(%)

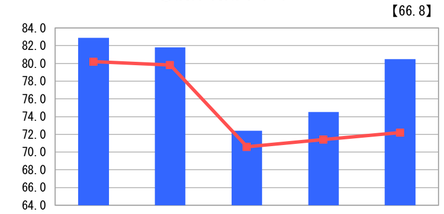
【83.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	96.1	96.8	89.7	91.0	94.4
平均値	91.9	91.6	86.5	88.6	88.6

④病床利用率(%)

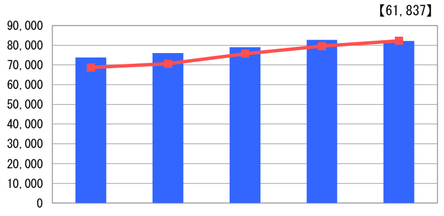
【66.8】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	82.9	81.8	72.4	74.5	80.5
平均値	80.2	79.8	70.6	71.4	72.2

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

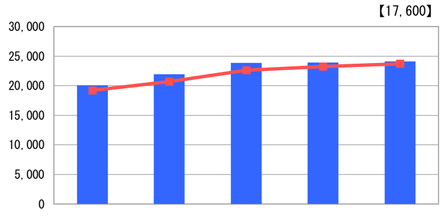
【61,837】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	73,856	76,110	79,057	82,831	82,239
平均値	68,751	70,630	75,766	79,610	82,275

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

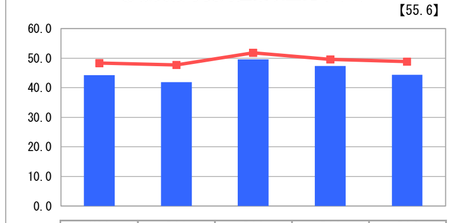
【17,600】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	20,044	21,937	23,863	23,944	24,113
平均値	19,207	20,687	22,637	23,244	23,704

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

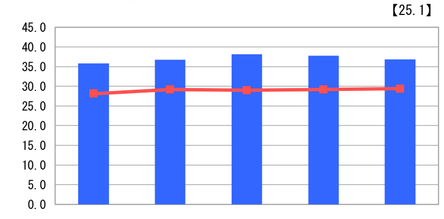
【55.6】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	44.3	41.9	49.6	47.3	44.4
平均値	48.3	47.7	51.8	49.6	48.8

⑧材料費対医業収益比率(%)

【25.1】

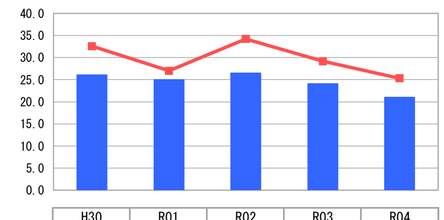


	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	35.8	36.7	38.1	37.8	36.8
平均値	28.1	29.2	29.0	29.2	29.4

2. 老朽化の状況

⑨累積欠損金比率(%)

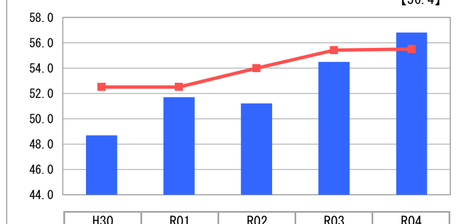
【63.0】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	26.2	25.1	26.6	24.2	21.1
平均値	32.6	27.0	34.2	29.2	25.3

①有形固定資産減価償却率(%)

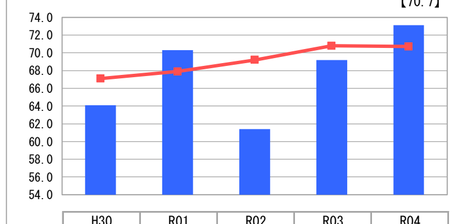
【56.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	48.7	51.7	51.2	54.5	56.8
平均値	52.5	52.5	54.0	55.4	55.5

②器械備品減価償却率(%)

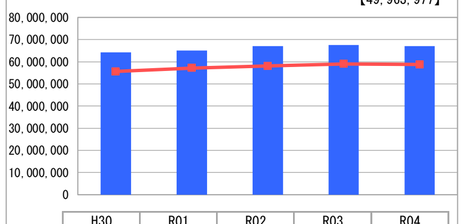
【70.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	64.1	70.3	61.4	69.2	73.1
平均値	67.1	67.9	69.2	70.8	70.7

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,963,977】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	64,210,763	65,023,027	67,022,510	67,510,580	66,958,049
平均値	55,620,962	57,155,394	58,042,153	58,985,932	58,800,982

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ　地域において担っている役割

・救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
・都道府県がん診療連携拠点病院等、地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
・研修の実施等を含む、広域的な医師派遣の拠点としての機能

Ⅱ　分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率、医業収支比率
　令和４年度においては、高額薬品・材料の使用増や燃料価格の高騰による医業費用の増加があったものの、入院・外来患者数が令和元年度の水準近くまで回復したことから医業収益が増加し、医業収支比率については前年度比3.4ポイントの増加となった。
　また、新型コロナ患者受入のための病床確保に伴う国からの補助金等により、経常収支比率については1.3ポイントの増加となった。
・病床利用率
　前年に比べ入院患者数が増加したことから、利用率は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の流行前に比べ低い水準にある。
・入院患者１人１日当たり収益
　新規加算の取得等により増加傾向にある。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率
　平成28年度に整備した先端医療棟に係る建物類の償却が進んでいることから、増加傾向にある。
・器械備品減価償却率
　令和２年度に更新した高額器械等の減価償却が進んでいることから、増加傾向にある。

全体総括

　令和４年度は、入院・外来患者数の増加や国補助金の確保等により経営状況は過去と同水準を維持している。
　引き続き、地域医療構想、公立病院経営強化プランなどを踏まえ、県内唯一の県立総合病院として、地域医療ニーズに応じた高度・専門医療を提供するとともに、周産期医療や救急医療など政策医療を適切に推進するなど、健全な病院事業の運営に取り組んでいく。